

(様式3)

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	平成30年度第1回鳥栖市図書館運営協議会		
開 催 日 時	平成30年7月13日 (金) 9:30~11:15	開 催 場 所	鳥栖市立図書館視聴覚室
出 席 者 数	委員 8人 (うち2人代理出席) 事務局 7人	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) 委員長・副委員長の選任について (2) 平成29年度事業報告について (3) 平成30年度経過報告について (4) 図書システムの更新について (5) その他協議報告事項について		
配 付 資 料	鳥栖市立図書館要覧2017 (事前配布) 鳥栖市子ども読書活動推進計画 (事前配布) 平成30年度第1回鳥栖市図書館運営協議会 資料 [内容] ・鳥栖市図書館運営協議会設置条例、同規則 ・鳥栖市図書館運営協議会委員名簿 ・平成30年度鳥栖市立図書館事業経過報告及び今後の予定 ・鳥栖市立図書館図書館システムの更新について		
所 管 課	(課名) 生涯学習課 図書係 (電話番号) 85-3630		

議 事 録

1 開 会

- 事務局（山津課長兼館長）
 - ・課長（館長）の新任あいさつ
 - ・新任委員（龍尾委員）の自己紹介
- 教育長あいさつ

2 議 事

- 山津課長兼館長により議事進行

議題（１）委員長・副委員長の選任について

- 事務局
 - ・資料「鳥栖市図書館運営協議会設置条例・同規則」に基づき説明。
- 内野委員長、成富副委員長を全員一致で承認
- 以降、内野委員長により議事進行

議題（２）平成２９年度事業報告について

- 事務局報告
 - ・資料「鳥栖市立図書館要覧２０１７」に基づき説明。
- 委員
 - ・移動図書館車を夏休み期間に子どもの集まる場所へ臨時運行できないでしょうか。
- 事務局
 - ・夏休み期間には移動図書館車を活用し、放課後児童クラブ１７か所に６８０冊を届け、期間中に本の入れ替えも行う予定としています。
- 委員
 - ・図書館利用減や読書離れは全国的な傾向です。国は４月に「第４次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定しており、小郡市では紙ベース・電子ベース図書の利用、子どもの発達段階に応じた対応、障がいのある子どもへのサービスを整理しています。入館者数や貸出冊数を増やすためには、学校と図書館が十分に連携していくことで効果が表れると考えます。少ない職員体制で大変ですが、具体的内容を加え事業をさらに増やしていただきたいと思えます。

●事務局

・貸出冊数に強くこだわることはありませんが、利用減については何かしら対策が必要と考えており、子ども読書活動推進計画策定を機に主に18歳以下を対象とした取り組みに力を入れたいと思っています。今年度は市内全小学校で電算化を行うことが決まっており、図書館としてはできる限りバックアップしたいと考え、電算化により学校図書館を利用できない期間、学校に対して2,860冊の団体貸出を行いフォローしたところです。障がいのある子どもへのサービスについては、DAISY図書の導入を検討しており、すでに導入している自治体の事例を調査したいと考えています。

○委員

・DAISY図書は、タブレット端末しか利用できないのでしょうか。

●事務局

・デスクトップパソコンでも利用可能です。本は文字の大きさや色は変えられませんが、DAISY図書は個人に合わせて背景色を替えたり読み上げ速度を調整できたり、視覚や聴覚で読書を助けてくれる支援ツールです。

○委員

・小郡市は、教科書がDAISY化されました。

◎教育長

・鳥栖市でも28年度から特別支援学校で教科書に導入され、効果が表れています。図書館においても障がいのある子どもの目線で取り組んでいきたい意向です。

○委員

・基山町の図書館はWi-Fi環境がありますが、鳥栖市でも設置してはどうでしょうか。特に若年層には効果があると思います。

●事務局

・過去に導入費用や効果を検討したこともあります。携帯電話でのデータ通信は一昔前は速度も遅く高額でしたが、今は早くて安価になっています。それに加え、現在は至る所に民間のWi-Fiスポットがあり、図書館への公費設置の必要性は薄れているのではと考えます。また、鳥栖市の公共施設全般に設置されていない状況です。

○委員

・基山町はほとんどの公共施設に入っており、私は図書を借りるのは鳥栖市、Wi-Fi使うなら基山町と使い分けています。出先で調べものをしたいときなど、町内であればWi-Fi目的で公共施設に寄ろうという感じになります。スマホやゲーム目的であっても居場所づくりになるし、ついでに本を手取るきっかけにもなると思います。

○委員

- ・Wi-Fi環境は危険なコンビニ等のものより、公共のものならより安心できます。例えばWi-Fiコーナーを作ってあげたら、若年層も来館しようと思うし保護者も行かせるのではないのでしょうか。

◎教育長

- ・貴重なご意見をいただきありがとうございます。

●事務局

- ・導入費用やセキュリティ面も考え、今後改めて検討したいと思います。

○委員

- ・学習コーナーが狭いと感じることがあります。実際、自分が調べもので図書館に来た時にスペースが空いてなくて使えなかったことがありました。紙媒体で調査したい時や勉強などで需要はあると思われるので、夏休み期間だけでも広げてみることは考えられませんか。

●事務局

- ・スペースの都合上、これ以上の学習コーナーの拡大は難しいと考えています。比較的空いている時間帯・曜日の利用や、サンメッセ鳥栖を案内しています。

○委員

- ・図書館が中学校の宿題に合わせて教科ごとに本や教材を並べてくれたら、学校としては「こんなコーナーがあるよ」と図書館の案内やPRができます。佐賀市では学校の自由研究の優秀作品を図書館に展示し、子どもも保護者も図書館に足を運んでいました。鳥栖市でも学校と図書館で何かと連携できればと考えます。また、今の子どもは調べもの、コミュニケーション、情報源、その全てがスマホかタブレットなどの電子機器になっています。図書館においても電子図書の積極的な導入や、貸出用タブレットがあれば良いのではとも思います。

●事務局

- ・中学生向けの図書資料はたくさんありますので、仕掛けづくりを学校と協働できればニーズに応えられる特集コーナーはすぐに準備することができます。鳥栖市でも優秀作品の展示はしており、普段利用されていない子どもさんが両親や祖父母とご一緒されている姿も目にします。利用増に繋げるため、今後も多種多様な施設・諸室・展示スペースの利活用を図っていきます。また、タブレット等の電子端末については、導入している図書館からは意外と年配の方の利用が多いと聞いています。図書館イコール本のイメージがありますが、固定概念にとらわれず電子書籍や電子機器の導入につきましても柔軟に考えてまいります。

○委員

- ・自分もタブレットは使いこなせないと思っていたが、先日ある美容室で「お好きな雑誌をどうぞ」とタブレットを渡され、使ってみると拡大自由でシニアグラス不要で思いのほか便利で驚きました。ただし、児童書や絵本については、子どもから孫へと引き継げるのでやっぱり紙ベースであってほしいという気持ちがあります。

○委員

- ・学校との連携については、小郡市では読書推進活動の一環で図書館職員を講師として派遣してポップ作りの啓発を10年近く行っています。大人から子どもへよりも、図書委員など子どもから子どもへの本の紹介の方がよく伝わります。出来上がったポップはまず学校、その後図書館、公民館に展示しており、子どもも保護者も見に来ています。

議題（3）平成30年度経過報告について

●事務局報告

- ・資料「平成30年度鳥栖市立図書館事業経過報告及び今後の予定」に基づき説明。

○委員

- ・小学校の現状をお伝えします。小学生は学校図書館で本をよく借りており教室や学校内の様々な場所で活発に読書している姿をよく見かけます。また、図書館自体も年2回の図書館まつりや金曜日の3冊貸出などよく工夫しています。しかし、学校評価による保護者アンケートでは家庭での読書量が低いのが浮き彫りになっており、原因としてテレビゲームやモバイル機器などの誘惑が多いことが挙げられています。現在は学校図書館が電算化作業によるクローズ中で、外で遊んでいる子どもが多く本離れも進んでいるのではと危惧しています。

●事務局

- ・学校図書館クローズ中の子どもの本離れを少しでも防ぐために、事前に学校司書から選書や冊数等の希望を伺い市立図書館から学校への団体貸出を行いました。子どもが家庭で本を読まないことについては、市長と教育長・教育委員による総合教育会議でも話が上がり、保護者に対しての家読の理解を促したいと述べたところです。

○委員

- ・各種の調査結果から見て取れるように、読書する子どもは学力が高いことが明らかです。福祉支援を受けている家庭は生活と子育てで手いっぱいの家読まで手が回らない状況です。図書館やボランティアが協力して、また自治体全体で子どもに読書の楽しさをアプローチすることが大切で、福祉部門と連携することが今後の課題と考えます。

●事務局

- ・難しく大きな宿題を頂戴し、課題を再認識できました。どういう力添えができるかしっかりと考えていきます。

議題（４）図書システムの更新について

●事務局報告

- ・資料「鳥栖市立図書館図書館システムの更新について」に基づき説明。

○委員

- ・システム更新による大きな変更点は何かありますか。

●事務局

- ・サーバが設置型からクラウド型に変更になることで運用がよりスムーズになり、障害発生時も迅速に対応できるようになります。

○委員長

- ・学校との連携はどうなりますか。

●事務局

- ・まずは学校図書館の電算化を優先という方針ですが、物流等の課題を整理し、次回更新の際にはネットワーク化を行いたい意向です。

議題（５）その他報告事項について

●事務局報告

- ・利用者持ち込みデジタル機器による図書資料の複写について。
- ・鳥栖市子ども読書活動推進計画の進捗管理について。

3 その他

●事務局

- ・第２回運営協議会は２月中旬を目途に開催予定であり、日程については年明けに調整させていただきます。

4 閉会